

令和4年4月28日

定例記者懇談会 第八管区海上保安本部長冒頭挨拶

- 本部長の榎本です。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

- 4月7日に私の就任会見から早くも3週間が経過しましたが、その節は、私の本部長就任にあたり、各社ともより良く報じいただきありがとうございました。おかげさまで、挨拶回りの際にも、既に報道で私を知っていただいている方が多く、地元との関係構築にも役立たせていただいています。

- 今、一管区、知床では大変な事故が発生し、本日も捜索活動が継続されています。私からも、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、ご家族の方々に心からお悔やみ申し上げます。

- 幸い、当管区では、私が本部長に就任してから昨日ま

で、大きな事故は発生しておらず、船舶海難に伴う死者行方不明者は発生しておりません。知床の事故のように多数の犠牲者が出る事故は大きく報道され、世間からも注目されるところですが、事案の大小に関わらず、尊い命を海難により一人として失うことのないよう、引き続き、海難防止に努めてまいります。

- なお、知床の事故に関連して申し上げますれば、昨日広報させていただいたとおり、当管区内では、知床の事故が起こる前から、観光を目的とした小型旅客船を対象に、地方運輸支局などと連携し、関連の事業者、船舶に対し安全指導を行っているところですが、今回の知床の事故を踏まえ、引き続き、指導を徹底してまいります。
- 本日は、この後、本部からは、発表事項2点を担当部長からご説明させていただきます。
- 発表事項の1点目は、潜水士の訓練のご案内です。当管区には、境海上保安部の「おき」、敦賀海上保安部の「え

ちぜん」、美保航空基地に、潜水土、機動救難士が配置されていますが、当管区の「救助の要」である潜水土、機動救難士が舞鶴に一堂に会し訓練を実施します。

○ 潜水土、機動救難士の合同訓練は、毎年この時期に行われていますので、これまでも取材していただいているかと思いますが、今回は、「座礁船からの救助を想定した訓練」が久しぶりに行われます。練習帆船「海洋丸」が伏木富山港に座礁し、陸上からロープを伝い、実習生が救助されたシーンが記憶に残っている方もおられると思いますが、あの事故をイメージしていただければと思います。見応えのある訓練になると思いますので是非取材していただければ幸いです。後ほど、瀬戸口警備救難部長から詳細を説明致します。

○ 発表事項の2点目は、ゴールデンウィーク期間中のマリナーレジャーの海難防止活動についてです。ようやく気候も良くなり沿岸でのレジャー活動がこれから活発になることに伴い、事故が増えることが懸念されます。特に、冬場活

動を休止していたプレジャーボートが十分な整備をしないまま海に出て事故を起こす例がとて多くなっています。先ほど、知床の旅客船の事故について触れましたが、海の事故は旅客船に限ったことではありませんので、乗船者の大小に関わらず、沿岸で活動するあらゆるレジャーを対象に、この期間に海難防止活動を集中的に実施し、安全に安心して海を楽しんでいただきたいと思います。活動の詳細については後ほど田中交通部長から説明してもらいます。

○ 私からは、以上となりますが、このほか、本部からの発表、業務説明のほか、海上保安学校から今後予定されている学校行事についての連絡がございます。また、この後、この4月に交代した本部の部長からご挨拶をさせていただきます。

○ 本日はどうぞよろしく申し上げます。